

# 図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム  
ページは  
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

## 3月のイベント

状況により変更・中止する場合はホームページやX (旧Twitter) で随時お知らせします。

### ●しょうちゃんと遊びま専科

「ティッシュ工作で遊びましょ！」

日時：3月9日（土）14:00～（1時間30分程度）

場所：2階 企画研修室

内容：当館顧問「しょうちゃん」と一緒に工作を楽しみます。

対象：小学生まで（小3までは保護者同伴）

定員：5組

受付：2月6日（木）から募集中 ※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話



### ●ダンボの会のおはなし会

日時：3月16日（日）10:30～（50分程度）

内容：ボランティアによる小さい子向けの絵本の読み聞かせです。お気軽にご参加ください。

【お問合せ：市貝図書館 ☎68-4380】

### ★歴史民俗資料館のイベント

第53回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：5月11日（日）まで

※休館日は図書館に同じ

内容：資料館所蔵の考古学遺物を展示し、古代の文化に触れます。

【お問合せ：生涯学習課（中央公民館）☎68-0020】

X (旧ツイッター)  
でも 情報配信中！



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun\_ichikai

★開館時間 9:30～19:00★



★忘れ物・落とし物を展示します★

3月1日（土）～3月9日（日）の期間、図書館入口にて忘れ物・落とし物の展示を行います。

お心当たりのある方はスタッフまでお声がけください。なお、展示期間後は処分させていただきますのでご了承ください。



★受賞作コーナーのご紹介★

新刊コーナー奥の受賞作コーナーでは、旬の受賞作品関連本を紹介しています。貸出中の場合は予約すると予約順にご連絡します。話題作をぜひ読んでみてください。

★第172回芥川賞・直木賞（2024年下半年期）

【芥川賞】

「デートピア」

安堂 ホセ // 著（河出書房新社）

「ゲーテは全てを言った」

鈴木 結生 // 著（朝日新聞出版）

【直木賞】

「藍を継ぐ海」 伊与原 新 // 著（新潮社）

★本屋大賞ノミネート作

4月に決定する本屋大賞ノミネート作を紹介しています。

## 図書館カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30*			

■…休館日 ※月末資料整理日

# ★古本リサイクル市を開催しました★

2月22日～2月24日に、毎年恒例の「古本リサイクル市」を開催しました。（一般書・児童書・コミックスのみ）

図書館で除籍となった本・ご家庭での不用本2,433点（用意数3,159点）を希望者に無料で頒布しました。

また、いただきました募金は1,336円でした。全て図書購入費に充てさせていただきます。

次年度も実施予定ですので、ぜひご参加お待ちしております。



お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

## 今月の スタッフおすすめ本

### 一般書

#### 「点と線」

松本 清張 // 著  
(光文社)

何度でも読み返したくなる本。その作品が著名な作家の書いたものだからではない。

記憶の中にある味や、匂い、音楽と共に何かの拍子に思い出す。

最近Z世代を中心に昭和を取り扱うトレンドとして注目されている。昭和を代表する推理小説作家といえば松本清張である。その中でも「点と線」は名作ではないか？

時代は昭和初期。キーポイントとなるのは鉄道の「時刻表」？事件のアリバイ工作を巧みに組み込んである鉄道ミステリー。スマホ・タブレットも監視カメラも身近にはなかった時代だからこそ背景や人物の描写が楽しめる。今読んででも面白い一冊です。

(スタッフ：パンダみたゾウ)

### 児童書（高学年向け）

#### 「6年3組さらばです」

吉野 万理子 // 著  
(静山社)

3月は卒業式の月ですね。小6の皆さんは4月から環境が変わって、ワクワク、ドキドキですね！

今回ご紹介するのは、6年生が主人公のショートストーリーで、15人それぞれの想いが描かれています。皆さんの気持ちに近い話はありませんでしょうか？春休みにぜひ読んでほしいです。  
(スタッフ：くろまめ)

### YA（中高生向け）

#### 「今日よりは明日はきっと良くなるよ」

茂市 久美子 // 著  
(講談社)

大槌町に暮らす小畑さんと愛犬、太刀君の3.11直後からの日々の記録。太刀君、そして動物・生き物達の尊さ、偉大さを伝えてくれ、改めて身につまされます。日本ではほぼ報じられませんでした。2024年のLA火災の際、野生動物やペット救出のため、速やかに米国市民は尽力しています。日本も早くそうなってほしい事、3.11を風化させない願いを込めて、ご紹介します。  
(スタッフ：りんごあん)



いよいよこの日がやってきてしまいました。お別れの日です。執筆のきっかけは、企画担当者から「他の図書館にははない、市貝独特の内容の図書館通信ができないでしょうか」という話から、当時の館長だった私がコラム的に請け負うことになりました。平成24年8月からのことでした。ちょうどその頃、復興省からの依頼を受け、東日本大震災で被災した福島県の270人の子どもたちを対象とした「笑顔Againネイチャー楽習の集い」というイベントに講師として依頼され、プロジェクトに参加した時の様子を書いたのを覚えています。

それから14年の月日が経ち、今では140回以上も続いたことに只々感謝しています。これだけ続けると一冊の本になるね、などとスタッフから煽られ照れてしまいました。長きにわたりご愛読いただき、本当にありがとうございました。私の人生のモットーは「暮らしの中のどんなことに対しても《遊び心をもって生きる》」という信念をもって若い時から生きてきました。年老いてただ長生きすればよいというものでもありません。自分で責任が持てる長生きのしかたを模索していきたいと思っています。またどこかでお会いできる日を楽しみにペンを置きます。皆様、お元気で！！